

木造化関連議案に反対

江上ひろゆき議員

■平和と戦後復興の象徴として再建された現天守閣を、急いで壊して木造化することに、市民の合意はない。名古屋市が行った2万人アンケートでは、「2020年7月までの木造復元」は21%にとどまった

■調査会社は入場者数の長期予測は不可能と指摘。税金は1円も使わないと市長は言うが収支計画は破たんしている。木造化予算案の可決は見切り発車だ

個人質問

■市民ニーズに応えた、新しいお墓のスタイル「公園樹木葬」の導入を
| 藤井ひろき議員

■高齢者の住宅確保にむけ、市が独自に支援体制をつくれ
| 藤井ひろき議員

■道路渋滞や騒音、振動、排気ガスなど「リニア」工事に対する沿線住民の不安解消を
| 青木ともこ議員

■滞納者の生活実態を考慮し、国民健康保険証は郵送等ですみやかに交付すべき
| 青木ともこ議員

■従業員のプライバシーを守るため、事業主あて特別徴収税額決定通知書へのマイナンバー記載はやめよ
| 柴田民雄議員

天守閣木造化 505億円よりも

名古屋城天守閣の木造復元が決まったという声がありますが、契約は4月の市長選後ですし、仮に契約したとしても各工程に議会の承認がいります。無駄なハコモノ事業より福祉を優先する市政が必要です。日本共産党名古屋市議団は2月議会で、市民の切実な声を取り上げ実現を求めました。

■瑞穂区の住宅街に突然の高層マンション計画。都市計画を担う市は責任をもって解決にあたれ。全体的なルールの見直しを
| 柴田民雄議員

■2カ月におよぶ臨時教員の再雇用禁止は学校運営に困難をもたらす。現場実態に応じた見直しを
| 高橋ゆうすけ議員

■「軽度介護者には専門性のない安上がりサービスで」では利用者の重度化は防げない。訪問介護事業の検証・見直しを
| 高橋ゆうすけ議員

予算に反対

山口清明議員
■格差広げる「減税」と大規模展示場整備調査をふくむ一般会計予算に反対

代表質問

田口一登議員

■河村市政の評価

■市民税減税

1「富裕層・大企業優遇減税」の中止

2「減税」をテコにした「行革」の一環としての小学校給食調理業務の民間委託

■巨大ハコモノづくりをやめよ

1天守閣の木造復元

2空見ふ頭の大規模展示場

■子どもの貧困対策

1小学校給食費の無償化

2子どもの医療費無料制度の18歳までの拡大

3就学援助制度の入学準備金の前倒し支給

■介護保険料の軽減

■公契約条例の制定

■「ヒバクシャ国際署名」への河村市長の姿勢

詳しくは市議団HPで!
<http://www.n-jcp.jp/>



「金持ち減税」 やめれば…

日本共産党名古屋市議団

ニュース 256号 2017/03/30

〒460-8508 名古屋市中区三の丸3-1-1

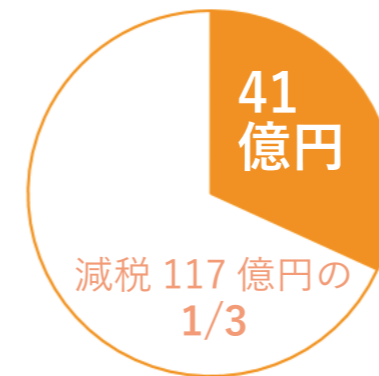
電話 (052)972-2071 FAX(052)972-4190

日本共産党名古屋市議団は2月議会で、予算の組み替え案を提案しました。金持ち減税をやめれば117億円、無駄な大型事業などを削れば23億円の財源ができます。

日本共産党の予算組み替え案

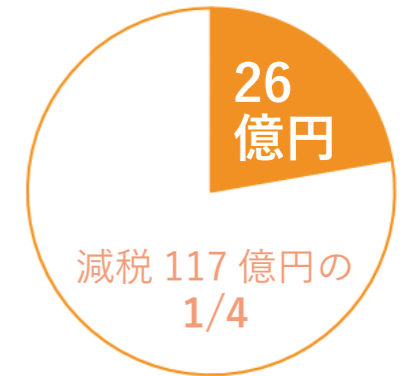
小学校給食無料化

給食費は子ども1人あたり年約4万円。41億円で無料に出来ます。



国保料値上げの中止

一人あたり平均年約7300円（医療・介護含む）の値上げを中止します。



後期高齢者医療保険料の軽減措置の縮小の中止	3.3億円	特例軽減を縮小し市民負担を増やす現方針を中止します。
18歳までの医療費無料化	14.9億円	中学校卒業までの無料制度を18歳まで広げます。
商店リフォーム助成制度の創設	1億円	商店の改修を市内業者に発注するさい、市が費用を助成することで地域経済の活性化をめざします。
住宅リフォーム助成制度の創設	1.6億円	1件あたり最大100万円の補助。マンション支援も含まれます。
少人数学級の拡大	25億円	小学校3年生までの30人学級、中学校2年生までの35人学級を拡大します。
小学校給食調理の外部委託中止	1.7億円	今年度は、天白小学校・桶狭間小学校・瀬古小・下志段味小の5校が外部委託される予定です。
その他 私立高校授業料補助の拡充・奨学金返還支援制度の創設・公立保育所の民間移管中止・学校図書館司書の全校配置などを提案		

日本共産党 市議団が提案し、 市民の皆さんと 力を合わせて 実現しました。



奨学金

高等学校給付制奨学金

経済的に困難な家庭の高校生を応援する、給付制奨学金制度がようやく実現しました。党市議団が議会で繰り返し求めてきたもので、年間支給額は公立が6万円、私立が7万2千円で返済不要。2013年2月議会で山口議員が提案、その



後も岡田ゆき子、西山あさみ、田口一登各議員が求めました。

子ども

学童保育への 運営助成の拡充

新年度予算で、ひとり親家庭への保育料減免など学童保育施策が拡充されました。党市議団は、毎年の市長交渉（予算要望）で求めるとともに、担当部局にも直接要請。保護者をはじめ、学童保育関係者の粘り強い運動と党市議団の連携の成果です。

就学援助における 入学準備金の増額

経済的な理由で小中学校の入学準備が困難な家庭を支援する入学準備金が大幅に引き上げられました。昨年11月議会で岡田ゆき子議員が提案したもので、入学前支給の実現をめざし、引き続き奮闘します。



学校図書館への 司書の配置

昨年の2月議会で高橋ゆうすけ議員が提案した、学校図書館への専任の司書配置が実現しました。温かみのある、使いやすい学校図書館づくりを通じ、生徒の利用促進が期待されます。

住みよい街

新堀川の悪臭対策

「臭い」「洗濯物が干せない」。住民の声をもとに、昨年6月、11月の2度にわたって西山



あさみ議員が取り上げ、党市議団で住民アンケートも実施。新年度予算にへドロ除去など3億6400万円の予算が盛り込まれました。

客引き行為規制

名駅周辺などの繁華街で横行する「客引き」が、街のイメージを悪化させ、経営を脅かしています。藤井ひろき議員が一昨年11月と昨年9月議会で取り上げ、規制条例の制定を提案。市もネットアンケートを実施し、新年度に初めて対策予算がつきました。

防災

指定避難所に簡易スロープを設置

2016年11月議会で岡田ゆき子議員が取り上げました。災害時に高齢者や車いす利用者の方が避難しやすくするため、市立小中学校の福祉避難スペースまでの段差解消用に簡易スロープを配備します。対象小中学校は約120校。

いのちやま 命山整備

命山とは、浸水時に緊急避難するための人工高台のこと。2015年2月議会で山口きよあき議員が提案しました。津波避難所として、港区に命山を整備します。